

2017自治労北海道本部青年部 役員セミナー



11月5日～6日に2017自治労北海道本部青年部役員セミナーが開催されました。今回の役員セミナーでは、単組・総支部で青年部運動を引っ張る役員の意識高揚をはかるため、講演、グループ討論や分散会を行いました。



道本部組織拡大オオルグ
吉田雅人さん

「知らない」は損
1日目は3つの講演があり、まず始めに道本部組織拡大オオルグの吉田雅人さんから、「青年部運動の必要性」と題した講演がありました。「青年部運動では役員選びや学習会の企画、組織の運営といった『手法』の話に戸惑い、面倒になりがち。『何をやるか』を先に考えるのではなく、『何のために』を考えるとから運動をするべきだ。」といった青年部運動の方向性についての内容や、「知らない」ということは損をすることに繋がる。知らないで逃れられるほど社会は甘くない。「職場の人」から「職場の仲間」になるには一人ひとりの思いを共有することが大事。そのために学習、交流を行う。」といった学習、交流の重要性についての講演がありました。

「労働者の命を守る」
最後にJR総連北海道地方協議会青年部長の中井良太さんから「平和および共闘運動の意義と課題」と題した講演があり、「平和とは被害者にも加害者にもならないこと。組合が目指している平和はただの理想だと言う人がいるが、理想を掲げてもし



前道本部政治部長
竹中慶吉さん

「政治運動は日頃から」
次に前道本部政治部長の竹中慶吉さんから「政治闘争の意義と課題」と題した講演があり、「選挙前だけ推薦議員を紹介しても仲間の賛同は得づらい。その議員は何をしているの？これから何をしてくれるの？という問いが出るのは当然。選挙の前だけ政治について考えるのではダメ。常日頃から関心を持つ、持たせる必要がある。」といった内容でした。

いじゃないか。労働者の命を守ることも組合の意義であり、思っただけでは平和はお訪れないから、行動に移すことが大事。」といった平和運動の重要性についての講演がありました。



JR 総連青年部長
中井良太さん

2日目は道本部幹事、地方本部役員、単組・総支部役員の3つの役割ごとにグループ分けし、分散会を行いました。分散会では、「年始めに部員全員にやりたいことアンケートを実施して活動内容を定める。」「全部員が1回は参加できるように学習会のスケジュールを組む」といったより良い青年部運動につながる意見が出されました。

☆今回の参加者☆

今野
齊藤(和)
高橋(弘)(運営)

